

SSRI 20-13



金融マンの目で見、識る資料

平成20年度上期 (20年4月～20年9月)

名古屋 地方裁判所 競売物件 [開札・落札]分析

開札・落札物件編

平成21年2月

不動産金融のシンクタンク
株式会社 三友システムアプレイザル

不動産金融研究所

SANYU SYSTEM RESEARCH INSTITUTE (SSRI)

TEL 03-5213-9750

FAX 03-5213-9760

このレポートは地方裁判所が公表した情報に基づいて作成しております。件数、期日、金額等については、現時点のデータと差異がある場合がございますのでご注意ください。また、注意して読んでいただきたい項目については、弊社小冊子「レポートの見方」もございますので、ご希望の方は上記までお申出下さい。

平成 20 年度上期（平成 20 年 4 月から平成 20 年 9 月まで）に、名古屋地方裁判所（本庁・一宮・岡崎支部扱い）において、競売の開札日が到来した物件の分析を行った。開札期日到来物件数なので、地裁の発表する競売申立受理件数とは異なる。

目次

☆開札動向

I 売却種類別開札件数	2
II 受理年別開札件数（暦年）	3
III 買受可能価額	3

☆落札動向

IV 落札件数・落札件数率	5
★売却基準価額未満での落札状況	6
V 落札物件に対する応札者数	6
★個人落札状況	8
★落札価額上位状況（個人・法人）	8
VI 落札価額、落札価額対買受可能価額倍率	9
VII 落札価額対売却基準価額倍率	9
VIII 競売取り下げ状況	10

☆まとめ

○開札状況

- ・ 開札件数は長期的には減少傾向であったが、今期は「マンション」の大幅増加があり総件数は増加した。

○落札状況

- ・ 落札率は引き続き上昇また応札者総数は前期減少したものの今期再び増加しこの数年横這い状況。落札価額倍率はやや低下。
- ・ 東京地裁・大阪地裁では落札率低下・応札者総数激減・落札価額倍率低下と競売市場が低迷期に入った様子が窺えるが名古屋地裁における競売市場は今期は大きな変化は見られなかった。